

「43日で HSK 5 級に合格する方法」

齋藤一成

・はじめに

私は 43 日で(10 月 20 日～12 月 2 日)HSK5 級に合格しましたので、私の HSK 試験の勉強方法をご紹介しますと思います。私は、中国に来る前、半年間大学の第二外国語で勉強していただけで、ただの政治経済学科の学生です。

私がこのレポートで伝えたいことは、「適当に楽に勉強して、周りより早く合格しよう」ということです。私は元来、長い期間集中して勉強することができません。いかに適当に楽にやって合格するかを考えて勉強しました。その成果もあり 43 日という比較的早くに HSK 5 級に合格することができました。

このレポートは、私の勉強方法を 1. 「試験に対する基本姿勢」と、2. 「具体的な勉強方法」という二部構成でお伝えします。このレポートで、皆さんの合格のお力になれば幸いです。

1. 基本姿勢

・できるだけ早く試験を受ける

まず初めに、一番直近の試験を受けてください。1 か月後の試験があればちょうどいいです。直近の試験を受ける理由は 2 つ。1 つ目は、試験が近いので勉強に身が入ること、2 つ目はもし落ちたとしても、次の試験で有利になるという理由です。

すでに 1 回受けたことがある人と、初めて受ける人とでは圧倒的に前者の方が有利です。1 回目落ちたとしても、実際の試験を受けた経験があるので、次の 1 か月はさらに勉強に身が入りますし、問題や試験会場の雰囲気にも慣れて、実力を発揮できます。何回目で受かろうが合格は合格なので、受かるまでどんどん受けましょう。下に書いた勉強法でやれば確実に 2 回目には合格できます。

HSK 担当の先生に受けたいということを伝えれば、手続きしてくれます。「5 級は難しいから絶対受からないよ」と言われても無視してください。私もそう言われましたが合格できました。とにかく勉強しなくてもいいのでできるだけ早く、試験を受けましょう。

・パソコン試験を受ける

HSK 試験はパソコンで受けられます。ですので、漢字を書く練習をする必要はありません。ピンインさえ知っていればキーボードで書くことができます。普段の授業では漢字の書き順の練習をしますが、パソコンで受けられる以上、漢字の練習をする必要はありません。大事なものはピンインを覚えることです。私は書き順の授業は時間の無駄だと思い、出ませんでした。

早く受かりたいならパソコン試験を受けましょう。漢字の練習時間が短縮されるので、大幅な勉強時間削減になります。試験本番でも書き間違いがなくなるので得点も上がりま

す。勉強時間の短縮と得点の向上ができるので、絶対にパソコン試験の方がいいです。

・ HSK5 級は単語命

HSK5 級は、単語帳と聞き取りの練習をすれば合格できます。単語帳は万能です。ピンインは听力で、単語の意味は阅读で、例文は作文でそれぞれ点を取れます。例文は2つありますが片方、簡単なほうだけ覚えればいいです。さらに言えば、例文は覚えなくても単語の使い方が分かれば大丈夫です。作文と聞き取りに関しては下で説明しています。

とにかく単語を覚えましょう。私が使っていた単語帳は、『外研社・・ HSK 科堂系列 HSK 词汇突破 5 级』です。

2. 勉強方法

・ 月水金以外は単語の勉強をしない

私の場合、土日も根詰めて勉強すると一か月半も勉強できません。土日は絶対なんの勉強もしてはいけないと決めて部屋で YouTube とアニメを見てだらだらしていました。2 日間だらだらしていると月曜日に勉強したい！と思うようになり、集中力が増しました。そのほかに火曜日と木曜日は午後にも授業があって疲れているので単語の勉強はしませんでした。試験前日と当日だけは、特例として単語の勉強をしていました。

・ 単語は適当に、量をこなす。

単語はあまり集中しすぎず、だらだらやるのがいいです。集中しても覚えられる単語量は適当にやった時とさほど変わりません。むしろ目に入る単語数が減るので勉強効率が悪いです。さらに精神が疲れて勉強が嫌になるのでやめた方がいいです。「意識して覚える」より、「見て慣れる」といった感じでやる方がいいと思います。

ベッドに寝っ転がって YouTube とかアニメ見ながら交互にやると飽きないのでいいと思います。私はそれを月水金だけ、1 日 5 時間くらいしていました。6 割方、YouTube とアニメ見ていたので大体一日 2 時間くらい勉強していました。とにかく 1 周を 1 分で 1 日 100 周くらいしましょう。広く浅く何かをしながらやるくらいがちょうどいいです。だらだらやるので楽し、楽しんで覚えた単語が普段の授業や日常会話で使えたりして嬉しいですよ。

試験の 1 週間前から覚えていない単語を意識的に覚えるようにしましょう。勉強を始めて 1 か月もすれば、覚えていない単語は 2 割くらいです。最後の 1 週間はちょっとだけ頑張っ覚えてきましょう。

・ 作文

作文は 2 問あります。1 問目は単語が 5 個与えられ、その単語を使い作文を書くというもの。2 問目は画像をみてそれについての作文を書くというもの。どちらも 80 字前後です。

1 問目は与えられた単語の使い方が間違っていると減点になるので、単語の例文か、使い方を覚えてください。どの単語が出るかわからないので、1300語の例文を広く浅く覚えましょう。2 問目は単語の指定がないので比較的簡単です。作文はどちらも減点方式です。難しい文を書いても加点はありません。間違えないよう、普段の授業でも出るような、一番簡単な文で書きましょう。使ったことない表現を使うと絶対にどこか間違えるので、確実に合っているものを使いましょう。試験の前に3回くらい自分で書いた作文を先生に直してもらおうといいと思います。

・聞き取り

聞き取りだけは、単語帳だけではカバーできません。山西大学で **HSK 5 級** の授業があるのでそれにでてください。もし「听力」(リスニング)の授業をやっていたら、毎回参加してください。1 か月やっていけば7, 8割取れるようになると思います。聞き取りは慣れなので単語帳で発音を覚えて、毎週出ていけば7割は取れます。ちなみに授業での先生の説明は合格に関係ないので聞き流しても大丈夫です。

もし聞き取りの授業がない場合、自分でCD付き問題集を買って、テスト形式で毎週一回解いていけば問題ありません。自分で採点して毎回7, 8割解けていけば大丈夫です。

・まとめ

HSK 5 級 は単語帳と聞き取りの練習だけで合格できます。43日間上記のゆるいスケジュールでやっていて合格できたので、効率よくできる方は、もっと早く合格できると思います。

大切なのは、「できるだけ早く受けること」、「単語帳を適当にやって1000周すること」です。準備が全くできてなくてもいいです。受けるのが早いほど合格も早くなります。単語帳は気を張って集中しすぎないでください。何かをしながら適当にやって覚えましょう。

ほとんどの留学生は **HSK 5 級** を取るために、中国に来てから早くて1年、遅い人だと2年くらいかかります。ですが、日本人なら1か月ちょっとで合格できます。先生やほかの先輩留学生から5級は難しい難しいと聞かされるかもしれませんが、日本人にとっては簡単な試験です。臆せず、まず1か月後の試験を受けてみましょう！